



**議会改革を着実に推進  
住みよいまちづくりに努めます**

根室市議会議長  
**波多雄志**

市民の皆様には、平成23年の輝かしい新春をお迎えのことと、根室市議会を代表いたしまして、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は北方領土・国後島へのロシア大統領訪問など、領土問題において極めて大きな出来事がありました。市議会では、当市の最重要課題である北方領土問題において、ロシアに対しては歴史的事実と国際道理にたった領土交渉を、日本政府には、戦略的で強力な領土交渉の取り組みを求めてまいりました。早期返還を待ち続けている元島民の方々のためにも、一日も早い解決を願っております。

また、当市の基幹産業である漁業に関しましては、温暖化による海水温上昇など、大きな影響を受けておりますが、

サンマの水揚げ量、金額ともに日本一が確実となったことは、非常に喜ばしいことであります。こうした中、長谷川市長が二期連続無投票による再選を果たしました。山積する課題に、オール根室で取り組むことへの市民の期待と、市長の強い決意を感じております。

新たな年を迎えるにあたり、市議会といたしましては、議会改革の着実な推進を図るとともに、住民福祉の向上と住みよいまちづくりの実現に向け、皆様の期待に添えてまいりたいと考えております。

今後とも、市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、希望に満ちた実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。



**夢と希望に満ちあふれた  
郷土に誇りを持てるまちへ**

根室市教育委員会教育長  
**阿部 能彦**

今年の干支の「うさぎ」は、穏やかな様子から家内安全を、跳躍する姿から飛躍を表すとされています。

子どもたちが郷土に誇りを持ち、夢と希望にあふれ、心豊かでたくましく成長し、大きく飛躍ができるよう、また、基礎基本をしっかりと身に付け、自ら学び考える力や確かな学力を育むことができるよう、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実に、学校と一体となって取り組んでまいります。

しかしながら、子どもたちの健全な育成は、学校や教育

委員会だけの力では補えないものがあり、学校・家庭・地域社会の連携協力により教育を進めていくことの大切さは、今も昔も変わるものではありません。

「家庭の教え」「学校の教え」「世間社会の教え」のそれぞれが機能し、関わり合い支え合っていかなければ、芽を出すことも、華を咲かせることも、実を結ばせることもおぼつかなくなり得ます。変えなければならぬことと、変えてはならないこととを見極め、学校と家庭と地域社会が、それぞれの役割を果たすことを基盤として、学校教育の充実を図っていきたくと考えております。

また、生涯学習の充実は、市民の生きがいを支える重要な課題であり、引き続き、各年代層の市民に対し、適切な生涯学習の場を提供できる事業を推進してまいります。

今後とも、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。